



湿原散歩

湖畔沿いのヤマブドウの葉が紅くなり、辺りには小さな黒い実が鈴生りになっていた。先月まで盛んに鳴いていた野鳥の鳴き声も気がつけばほとんど聞こえず、代わりにザワザワといった葉音が聞こえ、初秋の陽射しの中ではエゾトリカブトやサラシナショウマ、エゾヤマハギなど季節の花が彩っていた。日没も早く、夕方には気温も一気に下がるようになり、黄色くなり始めたスゲやヨシの湖面には、越冬のためヒシクイの一群が飛来していた。



塘路フィールドノート【8/15～9/14】

【野鳥】

秋の風物詩、ヒシクイがやってきました。いよいよ渡り鳥の季節の到来です。一方で、夏鳥たちは南へと旅立つための準備中。日に日に秋らしくなっていく空気とともに、野鳥たちの季節も移り変わっていきます。



アカゲラ (塘路湖畔)

キョッ、キョッという特徴的な鳴き声をした方を見ると、やはり近くにいました



ヤマゲラ (塘路湖畔)

頭頂部の赤い部分が見えないため、どうやら雌の個体ようです



コゲラ (塘路湖畔)

塘路湖畔では珍しくない野鳥ですが、姿を見たのは久しぶりのような気がします



ノビタキ幼鳥 (塘路湖畔)

ヨシの穂先など比較的通しの良い場所に止まっているところをよく見かけます



ゴジュウカラ (塘路湖畔)

お得意の逆さ走り。せわしなく木の幹を上下に行き交っていました



ハシトガラ (塘路湖畔)

最近湖畔歩道でよく見かけます。群れで行動していることも多いようです

【植物】

花の季節も終盤に差し掛かってきた塘路湖畔ですが、紫色が印象的なエゾトリカブトをはじめ、まだまだ多くの花が見られます。また、木の葉の色が少しずつ赤や黄色に変わり、秋の花とともに湖畔に彩りを添えています。



エゾトリカブト (塘路湖畔)

現在、塘路湖畔で一番目立つ花。湖畔歩道沿いで多く見られます。



ハンゴンソウ (塘路湖畔)

エゾトリカブトと並んで目立つ花。背丈が高く、遠くからでもすぐにわかります



エゾミソハギ (塘路湖畔)

湖畔の水気の多い場所で見られます。ヨシなどの陰に隠れてやや見つけづらい花



ツリフネソウ (フィトンチッドの森)

塘路湖周辺では同属のキツリフネに比べて生育地が限られ、個体数も少ないようです



エゾスズラン (フィトンチッドの森)

花の形が特徴的な野生ラン。フィトンチッドの森の限られた場所で少数見られます。



ナナカマド (フィトンチッドの森)

赤く色づき始めた果実。少しずつ紅葉も見られるようになってきました

【動物・昆虫】

最近湖畔歩道沿いでエゾシカの姿をよく見かけます。秋らしい陽気の日が多くなるにつれ、チョウが飛び交う姿は徐々に見られなくなってきましたが、トンボはまだまだ元気に飛び回っています。



エゾシカ♂ (塘路湖畔)

湖畔のパークゴルフ場で草を食べていた雄シカ。お腹を満たして、木陰で一休み



アカハナカミキリ (あるこっと)

センターのベランダで見つけました。家具調のシックな体色と木目の相性が抜群です



ルリボシヤンマ♀ (あるこっと)

センターの軒下に止まってじっとしていました。睡眠中だったのでしょうか

🐦 **バードカービング初心者講座を開催** 🐦

10日(3日の予定が都合により延期)、自然ふれあい行事「バードカービング初心者講座1回目」を開催しました。今年で18回目となり、今回は「ルリビタキ」をモデルに作りました。講師は釧路湿原ボランティアレンジャー会員の沢田正雄さんで、自己紹介も含め、講座の流れについて説明のあと、角材に図面を鉛筆で転写したものを糸鋸で輪郭をカットして切出しナイフを使い、丸みをつける作業となりました。削っては材料にセンターラインを引きながら、左右のバランスに注意しないと後々鳥の形が崩れてしまうことを講師から教わり、その際にナイフの使い方も教わりながら作業を進めました。



塘路湖畔に沈む夕日、昇る満月、青く染まる空



9月上旬のある日の夕方、センターの閉館作業を終えて外に出ると、塘路湖の西の空を赤く染める夕日が目に飛び込んできました。めったに見られない見事な夕景に、時を忘れてしばし見入っていたのですが、ふと、後ろを振り返ると、東の空ではまん丸の月が昇り始めており、湖の東岸を明るく照らし始めていました。沈みゆく太陽とは対照的に、徐々に東の空を昇っていく満月をしばらく眺め、それから再び西の空に目を向けてみたところ、すでに太陽は塘路湖の西岸に沈み、代わって日没直後の空を深い青に染める、神秘的なブルーモーメントの光景が広がっていました。

10月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

◎バードカービング初心者講座

第2回(全5回)

[日 時] 10月8日(日) 11時～15時

[定 員・参加料] 第一回の参加者の方

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎晩秋の湿原 野鳥観察会

[日 時] 10月29日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 ・無料

[開催場所] シラルト口湖・蝶の森

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

☆ザリガニウォッチング2 ～二ホンザリガニ編～

[日 時] 10月15日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 ・無料

☆申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで (0154-65-2323)

◆日出・日入時間 8/15(4:28,18:25). 8/31(4:45,18:00). 9/14(5:00,17:35)

～編集後記～

■夏も終わり、彼岸が近くなるころとなりました。釧路湿原も徐々に秋の装いとなり始めたようですが、観光客の姿もまだ見かけます。寒暖の差も大きくなり、散策などの際には上着が必要になるようです。最近エゾシカも道路に出てくるようになり、国道からセンターへ向かう道沿いにも時折姿を現すようです。くれぐれも車の運転には注意して下さい。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料